

令和元年度 第1回 岐阜県立池田高等学校活性化協議会 議事要旨

日 時	令和元年5月30日(木) 13:30~15:30
場 所	池田高等学校 会議室
出席者 (敬称略)	飯田 静世 神戸町子育てボランティア団体代表 伊藤 敦 神戸町立神戸中学校長 宇野 秀宣 神戸町教育長 岡崎 和夫 池田町長 国枝磨須美 池田町教育長 小林 月子 サンビレッジ国際医療福祉専門学校長 杉山 高広 岐阜県立池田高等学校育友会長 谷村 成基 神戸町長 所 竜也 岐阜県議会議員 仲井 智一 池田町立池田中学校長 西川 菊雄 池田町上田区長 野原 恵子 元池田高等学校育友会役員 松岡 政美 池田町商工会長 松井 千昭 池田高等学校長 高橋 宗彦 県教育委員会教育総務課教育主管
議事概要	1. 学校長 挨拶 2. 教育総務課教育主管 挨拶 3. 授業参観 古山教諭 数学Ⅱ 森屋教諭 化学基礎 4. 学校紹介プレゼンテーション 学校長 5. テーマ：「地域と連携し、魅力ある高校づくりを進めるには」 意見交換> ① 特別支援学校の行事へのボランティア参加は、とてもよい取り組みである。今後も地域の行事に積極的に協力して社会との関わりの中で、若いときから地域に貢献するという気持ちを育てていってもらえることを期待している。 ② 池田町における池田高校生は、様々な活動に参加してもらえて、ありがたい。池田未来会議スタートアップカフェでも、10名程参加していただいたが、若い感覚の考えに地域の方々も驚いたようだった。地域とのつながりをもっていただくのは大切なことだと考える。将来的には小規模校になるという中で、地元の生徒が地元の中学校の校長先生の推薦を受けて受験するような入試制度作りを、ぜひ考慮してもらいたい。 ③ 勉強会やボランティアなどの機会があれば、町としてもできる限り支援していきたい。町の行事にもぜひボランティアとして参加してもらいたい。ふるさと教育のモデル校という話であるが、様々な活動に関わっていきぜひ協力したいと考えている。 ④ 町としても人口減少、少子高齢化に伴いを抱え、さまざまな施策を展開している中で、ようやく転入・転出の割合が少し減ってきた。若い人に対して魅力ある事業を行っていきたいと考えている。若者にPRする場を作ってもらえればと思う。

- ⑤ スタートアップカフェに参加していただいたが、大変しっかりした考え方をされていて驚いた。池田高校はこの地域にとって大切な学校である。このふるさとを愛して大切に思い、ここで一所懸命頑張っていてくれる子達を育てていただきたい。先ほどキャリア教育の話が出たが、この地域で生き生きと活躍している先輩に話を聞いて、自分が将来どんな道に進むのか見通しを持てる子を育てられるといい。それに必要な資格取得など、町としても援助していきたい。
- ⑥ ニュージーランド研修に行った生徒が学校案内に載っていたり、スピーチコンテストで優勝したり、英語力を活かして航空会社に就職するなど、志をもって活躍している姿を見て地元民としても嬉しく思う。
- ⑦ 先ほど参観した授業では、どちらも先生が授業の組み立てを工夫して、生徒の関心をひきつけるように頑張ってみえるという印象を持った。地域との連携でさまざまな活動をしていると説明をうけたが、実際には生徒はどういう姿勢で参加し、反応や感想はどうであるか、アンケートや聞き取りなどで把握されているのか。
- ⑧ 池田高校をPRする重要性を感じる。一般の方はそれほど良さを認識していないと感じる。進路状況が良いことをもっとPRしてはどうか。子どもは夢があるので、中学生はその夢に従って各学校の良い特徴をもって高校を選んでいると思う。目先の魅力を感じて学校を選ぶので、将来のことは学んでいるうちに変わることがある。卒業してからの進路先は変わることがあるので、高校は特徴活かしただころをアピールする必要があるのではないかと考える。
- ⑨ 授業を見せていただいたが、ICTを活用したり、カードを使ったりして化学を学ぶ様子に、無味乾燥なものもこのように工夫することで興味をもって授業に参加できるなど、高校生にとっても必要なことだと、改めて感じた。中高のつながりを、中学校の立場からどのように進めていったらよいか考えながら見ていた。現在も出前講座にきていただいたり、部活動で共同の練習会を企画したり、対外的な行事と一緒にいったりなど様々ことをしている。新しい何かを生み出そうとすると大変だが、今のつながりをもっと深くしていくことを考えたい。負担をこれ以上増やさないように、また教育的効果がないとあまり意味がないので、出前講座の時期や内容など、あるいは部活動の交流活動の持ち方など、繋がり方を濃くしていくことが持続可能な繋がり方になるのではないかと考えた。
- ⑩ 校門指導をしていると、朝も夕も池田高校の生徒さんが気持ちのよい挨拶を返してくれる。現在、池田高校卒業生の英語の教育実習生が来ていて、その学生が留学をして単位を互換してもらい3年間で高校を卒業できたと喜んでいて。
- ⑪ 魅力ある高校づくりということで、さまざまな取り組みがなされていて素晴らしい。自分はボランティアに関わっているが、高校生はしっかりやっていただけという声が聞こえてくる。他にも町の祭りなど他のイベントもぜひ案内したいので協力していただきたい。
- ⑫ 地理的に池田高校とは近いため、日頃から密に連携させてもらいたい。今後高齢化を迎える町の皆さんが最期まで尊厳をもって生きるための専門職を育てるという重要性をわかっていただき、最終的には専門職として町に帰っていただければ貢献できるのではないかと。そういうことができると池田高校はモデルケースになる。
- ⑬ どのクラスも非常に楽しそうに授業を受けている様子が見られた。男女が仲よさそうに話しをしていたところがとても良いと見た。授業自体が参加型で、こんなふうなら眠くならないと感じた。ICT環境の話などは、近未来的ですごいと思う反面、黒板やチョークが懐かしいものに思えるので、使い分けがあってほしい。ボーイスカウトに関わっているが、池田高校の皆さんがボランティアとして多く参加してく

れている。参加者がとても楽しそうにやってくれるので、感心し、ありがたく思う。そういうボランティアや研修などでいろいろな人と出会われたところで、こんな人になりたいという思いや憧れを抱いて、将来の職業に結びついていくといいと思う。積極的にいろいろな体験に参加し活動するようになり、全員が課外活動も含めそういった体験ができればいい。

- ⑭ 授業参観したが、生徒がにこにこして先生との位置関係が近く感じられて、とてもいい授業だと思った。毎日の学校生活の中で先生との対話、友達との対話することでモチベーションが上げられるような環境を作っていた。子どもも楽しんで学校に通っている。また、自分が頑張ったことによって結果がついてくる、こういうことができるんだという、成長ののびしろを感じ取って、対話によって人間形成ができる環境作りをしていただきたい。部活動やボランティア活動においても第三者との交流をもつことで人間形成に役立つと思うので今後も宜しく願いたい。

5 教育総務課講評

子どもの数の話だが、現在令和元年の高校1年生と小学生3年生の数を比べると約400人減少する。一クラス40人とすると10クラス減ることになる。西濃地区の高校が12校あるので一クラスずつ減らせば対応できるということになる。ただ、いろいろな要素があるため一概には言えないが、それぞれの特色をもって活性化してほしい。

6 学校長挨拶

ご意見の中に消防団のなり手がいないという話があったが、自分自身は水防団に所属し活動している。私の地元も水防団のなり手が少ない。地元の各種団体に積極的に育てていただけるような生徒を育てていきたい。

皆様からのご意見を学校運営に活かしていく。本日は誠にありがとうございました。